

読響

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

不思議で美しい夢。

白い小道を歩き、
めぐりあったのは
鳥と蜂と蝶だけだった。
大地の果てに着いて、
少しだけ泣いた。

欧米で評価がうなぎ登りのオーストリアの新鋭



指揮 **カタリーナ・ヴィンツォー**
Conductor **KATHARINA WINCOR**

近現代作品を得意とするドイツを代表する俊英



チェロ **ユリアン・シュテッケル**
Cello **JULIAN STECKEL**

コネソン:「ラヴクラフトの都市」から“セレファイス”(日本初演)
CONNESON: 'Celephaïs' from "The Cities of Lovecraft" (Japan Premiere)

矢代 秋雄: チェロ協奏曲
YASHIRO: Cello Concerto

ブラームス: 交響曲第2番 ニ長調 作品73
BRAHMS: Symphony No. 2 in D major, op. 73

読売日本交響楽団 第640回 定期演奏会

YNSO Subscription Concert No. 640

2024年 7月 9日 (火) 19:00 サントリーホール
Tuesday, 9 July 2024, 19:00 Suntory Hall

S ¥8,000 A ¥7,000 B ¥6,000 C ¥4,500

読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時-18時・年中無休)

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団
助成: 文部科学省 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会
協力: アフラック生命保険株式会社

クラシック音楽の未来予想図

**新鋭ヴィンツォーが注目の日本デビュー。
コネソン、矢代、ブラームス作品を並べた
独創的なプログラムで新たな地平を拓く！**

1995年オーストリア出身のカタリーナ・ヴィンツォーが、注目の日本デビューを果たす。彼女の名を世界に一気に広めたのは、F.ルイーゲが音楽監督を務める米ダラス響の副指揮者に24歳で就任が決まった時。ウィーンとチューリヒで学んだ彼女は、欧州でキャリアを積みながら、このニュースと共に世界へと羽ばたいた。近年は、ベルリン・ドイツ響、フランクフルト歌劇場管、クラングフォルム・ウィーン、シアトル響などに客演し、今シーズンはケルン放送(WDR)響、BBC響へのデビューで成功を収めた。日本デビューとなる今回、ブラームスの傑作交響曲をメインに、フランス現代作曲家のコネソン、20世紀日本を代表する矢代秋雄作品という3つの作品を指揮する。コスモポリタンに活躍する彼女が、クラシック音楽の新たな地平を描くだろう。

1970年生まれのG.コネソンは、ロイヤル・コンサートヘボウ、シカゴ響など著名楽団に作品を書き、国際的に活躍しているフランス人作曲家で“現代世界の複雑なモザイク”を表すかのような作風を持つ。今回の作品は、怪奇小説の新たな世界を切り拓いた米国の作家H.P.ラヴクラフトの短編小説「セレフェイス」にインスピレーションを得



たもの。現実の世界に敗亡した孤独な主人公が、セレフェイスという名の架空の都市を夢見る物語。後期ロマン派的な煌びやかなサウンドが、幻想的な世界を作り上げる。

矢代秋雄は、1929年生まれ。芥川也寸志や團伊玖磨の少し下で、黛敏郎と同世代の作曲家だ。フランスに留学し、N.ブーランジェらに師事した。帰国後、30歳の時にN響の委嘱でチェロ協奏曲を作曲。ピアノ協奏曲などと並ぶ矢代の代表作だ。チェロ独奏の長いカデンツァで始まり、邦楽の要素を感じさせる瞑想的で静的な曲想からプレストの緊張感のある動的な部分へと繋がる単一楽章形式の曲。ドイツを代表するチェリストで、現代作品も数多く手がける俊英シュテッケルが、矢代の意欲的な作品に新たな光を当てるだろう。

メインは、ブラームスの交響曲第2番。20年以上を費やして作曲した第1番とは対照的に、ブラームスが南オーストリアのベルチャッハで過ごした約4か月で書き上げた名作だ。「ブラームスの田園交響曲」とも呼ばれ、陽光が差すような明るく温かな響きに包まれている。しかし、この明るさは、過去の美しかった時間を振り返るような、もしくは死の淵で過去を夢見るようであり、どこか死の気配が漂っている。ヴィンツォーは、“お国物”とも言えるブラームスの傑作を振り、豊かな大自然と共に生きる人間の喜びや美しさ、儚さを類稀な感性で描き出すだろう。

© Andrej Grlc



© Marco Borggreve

カタリーナ・ヴィンツォー 指揮

欧米で急速に注目度が高まっているオーストリアの新鋭指揮者。ウィーン国立音大とチューリヒ芸大で学んだ後、ルイーゲの下でダラス響の副指揮者を務めた。2020年にマーラー国際指揮者コンクールで入賞。近年は、ベルリン・ドイツ響、リンツ・ブルックナー管、フランクフルト歌劇場管、クラングフォルム・ウィーン、シアトル響、デトロイト響、バンクーバー響などを指揮し、好評を博した。今シーズンはケルン放送(WDR)響、BBC響にもデビューし、成功を収めた。ウィーンのアルノルト・シェンベルク合唱団の歌手及びアシスタントを経験したことから歌手との共演も多い。オペラではシンシナティ響とバーンス・タイン「キャンディード」(演奏会形式)を振ったほか、ザルツブルク音楽祭にも出演。今回、読響に初登場。

ユリアン・シュテッケル チェロ

温かい音色と豊かな音楽性で魅了するドイツの俊英チェリスト。リヴィニウス、ベルガメンシコフ、シフらに師事。2010年ミュンヘン国際コンクール優勝、聴衆賞などを総なめに。ロストロポーヴィチ国際コンクール第2位、カザルス国際コンクール第2位など受賞多数。エッセン・パッハ、ノリントン、ヴェンツァーゴ、フルジャら名匠の指揮で、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、バイエルン放送響、ベルリン放送響、パリ管などと共演。室内楽では、C.テツラフ、R.カプソン、タメステイ、フォークトラと共演し、ルツェルン音楽祭など世界の主要音楽祭に出演している。録音も数多くリリースし、「20世紀チェロ協奏曲集」はドイツの権威あるエコー・クラシック賞を受賞。現在、ミュンヘン音楽大学教授。

読響日本交響楽団 第640回 定期演奏会

2024年 7月9日(火) 19時開演

サントリーホール

東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001

S ¥8,000 / A ¥7,000 / B ¥6,000 / C ¥4,500

●東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分 ●東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

学生券 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。 ■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。 ■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。 ■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時~18時・年中無休

読響チケットWEB <https://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料



プレイガイド

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017

読響ホームページ

<https://yomikyo.or.jp/>